



特集展示

良平の横浜みなと

まちある 街歩き



港ヨコハマ行きつけの店 2004(平成16)年 水彩画
※2004年当時の情報です。地図内には現在営業していない施設や店舗も描かれています

2024 3/26(火) - 10/14(月・祝)

開館時間：10:00 ~ 17:00(最終入館16:30) 休館日：月曜日(祝日にあたる場合は開館し、翌日休館。4月30日(火)は特別開館)

入館料：一般500円 / 65歳以上400円 / 小・中・高校生200円

※本展は横浜みなと博物館の入館券でご見学になれます。 ※帆船日本丸との共通券(一般800円、65歳以上600円、小・中・高校生300円)で本展もご見学になれます。
※毎週土曜日は小・中・高校生100円の特別料金になります



横浜みなと博物館
Yokohama Port Museum

Webサイトはこちら





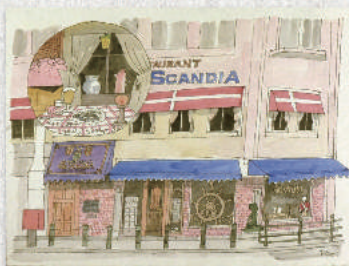
横浜港新港埠頭に残る明治の建物赤煉瓦倉庫
1980年代 切絵
忘れてはならない横浜港を象徴する建物として、作品によく描かれる。柳原は横浜の街づくりにかかわる中で、赤煉瓦倉庫を文化財として当時の姿のまま保存することを主張している



横浜税関 1983(昭和58)年 ペン画
横浜港のシンボルとして知られる三塔のうちのひとつ横浜税関を描く



山下公園からQE2(仮題) 作成年不明 リトグラフ
柳原は山下公園に植えられたマテバシイの間から海を見る光景を気に入り、同じアングルの作品を複数描いている



スカンディヤ(仮題) 2008(平成20)年 水彩
柳原が大好きだった大さん橋入口にある北欧料理のレストラン。柳原はビールやエシンの酔っ払いを楽しんだ

新港ふ頭周辺

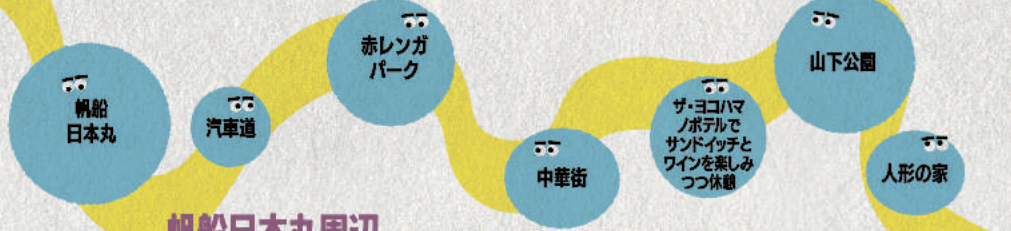
柳原は古い港の施設の保存について語る事が多かった

山下公園から大さん橋

大好きな船を見ることができるとお気に入りの場所だった



山下公園と氷川丸 1968(昭和43)年 切絵
横浜見物は山下公園から始まるとし、氷川丸は柳原の作品やエッセイに頻繁に登場する

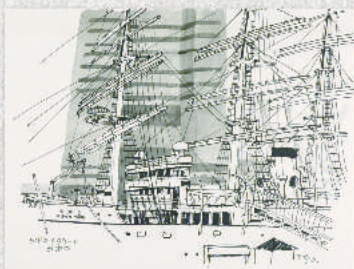


帆船日本丸周辺

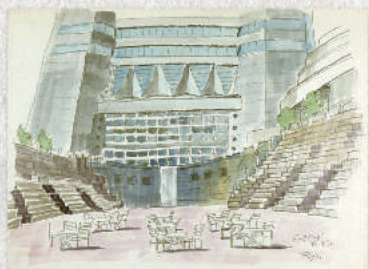
横浜への誘致・保存活動の先頭に立った柳原にとって、帆船日本丸は思い出のある船だった

元町

衣食の多くを元町にある店で買い求め、生活の場だった



ランドマークタワーと日本丸
2004(平成16)年 ペン画
帆船日本丸を左舷前方から描く。背後には横浜ランドマークタワー。エッセイ集では、必ず日本丸の誘致と保存、将来について語った



ドックヤードガーデン
1995(平成7)年 水彩
『良平の横浜みなとスケッチ』の中で、ドックヤードガーデンは横浜ジャズプロムナードの会場として紹介される



モトマチ 1995(平成7)年 水彩
元町商店街の入り口を描く。元町は柳原の自宅にほど近く、日常の買い物をする生活の場だった

- 谷戸坂
- 港の見える丘公園
- 外国人墓地
- 元町公園
- 山手カトリック教会



柳原良平アートミュージアム | 特集展示

良平の横浜みなと・街歩き

柳原良平は40年以上横浜に暮らす中で、横浜をテーマとしたエッセイ集を複数出版し、自らが好んだ横浜の港の風景、街並み、行きつけの店などについて紹介しています。横浜の街、特に港周辺は柳原にとって散歩道であり、仲間と語らう遊び場であり、家族との生活の場であり、もちろん作品を生み出す場でもありました。横浜の港を、街を、歩いて見つけた場所が柳原は多くの作品を描いています。横浜の街と港を描いた作品から、柳原の足跡を追体験してみてください。

※『柳原良平のわが人生』(柳原良平著、2017(平成29)年、如月出版)より

【関連事業】ガイドツアー「良平の横浜みなと・街歩き」

柳原良平アートミュージアムで担当学芸員による展示解説を聞いた後、NPO法人横浜シティガイド協会のガイドを聞きながら、柳原良平が愛した横浜の港と街をめぐる

○日時：9月28日(土) 10月9日(水) 10月14日(月・祝) 10:00～13:00頃 ※雨天実施 荒天中止
○受付開始：8月15日(木) ○参加費：1名1,500円(博物館入館料、記念品、保険料を含む)

○集合：横浜みなと博物館総合案内。山下公園で解散予定 ○定員：各回20名
○申し込み方法：件名を「柳原良平街歩き参加申し込み」とし、参加を希望する日、参加者全員の住所、氏名、電話番号を明記の上、横浜みなと博物館(museum@nippon-maru.or.jp)までメールでお申し込みください。先着順。
※今回お申込いただいた個人情報は当行事の運営以外の目的で使用することはありません

【次回の柳原良平アートミュージアム特集展示】

1984-85 祝 40th 帆船日本丸記念財団設立×帆船日本丸公開
柳原良平の日本丸がいっぱい!展(仮称)
2024(令和6)年10月16日(水)
～2025(令和7)年5月6日(火・振休)
柳原が描いたバラエティに富んだ帆船日本丸の作品を約40点展示します

【次回の横浜みなと博物館の展覧会】

横浜みなと博物館 企画展
横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋
港を支える長大橋
2024(令和6)年9月14日(土)～11月10日(日)
今年横浜ベイブリッジは開通35周年、鶴見つばさ橋は開通30周年を迎えます。これを記念し、2つの橋の建設から今までの歴史を写真や映像、模型などを展示し紹介します



公益財団法人 帆船日本丸記念財団
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-1-1
TEL 045-221-0280
FAX 045-221-0277

Webサイトはこちら



横浜みなと博物館
Yokohama Port Museum